

## 情報連絡員からの報告（要旨）

### 《製造業》

#### 食料品製造業

##### 1. < 宮城県 味噌醤油 >

緊急事態宣言が解除されたが、ホテル・観光業や飲食業に納入している組合員は未だに売上回復とはなっていない。また、助成金を活用し社員の勉強会を開催し、アフターコロナに備えている組合員もいる。

##### 2. < 茨城県 パン >

6月の1週目以降に学校給食が再開されたので、設備操業度は改善したが、現在納品されたものの支払いは1ヶ月以上先のため、7・8月が持ちこたえられるかが正念場である。

##### 3. < 群馬県 畜産食料品製造業 >

主力の豚肉について、輸入品が減少しているためスーパー向けの需要が安定している。牛肉の需要は、新型コロナウイルスの影響で外食産業が低迷しているため落ち込んでいる。

##### 4. < 千葉県 漬物製造 >

新型コロナウイルスの影響は続いており、漬物の売上は大きく減少しているが、スーパー向けのキムチの出荷について売上は好調である。昨年の台風被害のダメージも残っており、廃業する業者も出ている。

##### 5. < 東京都 カレー粉製造業 >

新型コロナウイルスの影響が大きい。業務用の需要は、学校給食が再開したことで回復しつつある。しかし、観光地の軽食等の需要は戻らず、平常時の半分程度であり、厳しい状況にある。

##### 6. < 沖縄県 めん類製造業 >

緊急事態宣言の解除を受け、人の動きや県内の企業等が徐々に活発化してきたことで、若干の回復傾向になっているが観光客数の減少に伴い、売上は前年同月比 14.7%減となり完全回復には至っていない。

#### 繊維・同製品製造業

##### 7. < 山形県 織物製成人女子・少女服製造業 >

呉服、服地とも衣料業界の売上減少が響き、従業員の休業や生産調整を実施しており、経済活動は通常には戻っていない。採算は、受注と生産が見込めず大変厳しい状況で大胆且つ大規模な施策が必要である。

##### 8. < 岐阜県 メリヤス >

大手の経営破綻により取引のあった企業は直に影響を受け、週休4日制を取らざるを得ず四苦八苦している。比較的元気のあった企業も、稼働率3割弱という現状であり大変苦慮している。

9. < 静岡県 織物業 >

組合主力のゆかたの販売が停滞し、中間仕掛在庫、製品在庫が製造元・卸問屋に年間生産量に匹敵する在庫が残る結果になりそうだ。

7月以降は、今のところ受注も無く、至急の対策が必要な状況。

10. < 大阪府 被服製造業 >

ユニフォーム関連は他のファッション・アパレルに比べ、大きな落ち込みにはなっていない。中止していた秋冬物新商品の展示会も一部で開催に向けて動き出すなど、受注拡大への新たな動きが出てきている。

11. < 兵庫県 繊維・同製品製造業 >

受注数量は昨年12月より、大きく落ち込んだ状態が続いている。緊急事態宣言解除後、産元は徐々に都市圏への出張（営業）を行っているが、商売が進んでいない状況である。

12. < 岡山県 アパレル >

メーカーは余剰在庫を持たない運用を迫られている。特徴のない商品は今後の継続が難しく、新型コロナウイルスをきっかけにビジネスモデルの転換が迫られている。

**木材・木製品製造業**

13. < 新潟県 製材業 >

市の経済対策であるリフォーム補助金により好転しているが、需要の先食いにならなければ良いと考えている。年末、来年以降は少し不安がある。但し、先を見て色々な構想もあるので楽しみも多くある。

14. < 京都府 製材業・木製品製造業 >

5月までは以前に受注していた仕事が残っていたが、外出自粛や人との接触を減らすなどの影響で営業活動が停滞した。設備機器メーカーのショールームも閉鎖され、新規受注がとれず当分の間影響が残る。

15. < 兵庫県 木材・木製品製造業 >

そろばんは新型コロナウイルスの影響で売上、生産が悪化した状況が続いていたが、自粛解除の関係で6月後半から受注が増えてきたとの情報も聞こえてきている。一方で在庫が増えていてその動きが気になる。

16. < 徳島県 製材 >

新型コロナウイルスの影響で住宅着工数が減少し、売上が減少している。夏以降の注文も少なく、すでに生産調整に入っている事業者も多くあり、出口が見えない。

17. < 香川県 製材 >

不景気の影響により素材業者は減産しており、新築住宅着工も減少のため、相変わらず製品の動きが悪い。

18. < 高知県 木製品素材生産業 >

材価の下落、受け入れ量の縮小等により少なからず影響が出始めた状況である。木材価格の下落が1~2割、生産数量は1割程度ダウンしている。製材所等の受け入れが2割程度減

少している。

## 紙・紙加工品製造業

### 19. < 群馬県 紙製容器製造業 >

売上を大きく落としている組合員が多く、在庫が積みあがっている。様々な業種で需要が消失しており、回復するには相当な時間がかかると思われる。

### 20. < 福井県 和紙工業 >

6月になったものの受注の回復は見込めず、資金繰りは以前厳しい。各種支援も受けているが、例年需要が落ちる夏場に向け、廃業がでないか非常に心配である。

### 21. < 岐阜県 機械すき和紙 >

引き続き、新型コロナウイルスの影響により売上、収益とも不調。組合員の中には、抗菌マスク等、対コロナ関連商品の開発により業績回復への期待が大きい先もある。

### 22. < 愛知県 段ボール >

工業系は6月に底打ちし、やや回復の気配である。土産物は駅周辺の営業再開で半分程度の回復であるが、観光地はさっぱりであり、観光振興が期待される。

### 23. < 鳥取県 パルプ・紙・紙加工品製造業 >

新型コロナウイルスの影響で例年に比べれば売上・資金繰り等、景況は悪化しているが、緊急事態宣言が解除され、少しずつではあるが、和紙の流通も動き出した。

### 24. < 愛媛県 紙製品 >

イベントやチラシ関連は大幅な減少だが、DM 関連や衛生紙関連は大幅な伸びを示している。総じて紙製品は産地間競争において勝ち組の企業が多く、このピンチをチャンスとらえて自己改革を断行している。

## 印刷

### 25. < 茨城県 総合 >

新型コロナウイルス第2波の発生に戦々恐々としているなかでは、経済活動の本格化への道は程遠い状況にあり、この経済活動に連動している印刷業界では受注減少、収益悪化が続いている。

### 26. < 栃木県 印刷業 >

消費増税の影響が薄れて回復傾向にあったところにコロナショックが打撃を与えた様子が鮮明になった。製品別では、商業印刷・出版印刷への影響が目立っている。

### 27. < 愛知県 印刷 >

6月は前年比30~40%の売上減となり、5月よりは少し良くなった。通販関係の仕事は好調だが、他は依然動きが悪い。夏のイベントが次々に中止になってきているので、7月以降も厳しい予想。

### 28. < 大阪府 シール印刷業 >

日本では新型コロナウイルスが少し落ちたが、中南米を中心に猛威を振るっている。消毒液を中心に需要が拡大し、それに伴いシールラベルの製造が追いつかないようであるとコ

ンビニ関連ラベルが忙しい。

29. < 長崎県 印刷 >

日本製紙連合の2020年5月の紙・板紙需給速報によると、印刷情報用紙の国内出荷は前年比33.2%減、10ヶ月連続の減少となっており、減少率が大きくなり益々悪化している。

30. < 鹿児島県 印刷・同関連業印刷 >

市町村によっては、当初、本業種は対象外であったが、追加するよう要望したところ、本業界を含む全業種へと拡大することとなった市町村もあり、団体で要望したことにより一定の成果を得ることができた。

**化学・ゴム**

31. < 岐阜県 プラスチック >

新型コロナウイルスの影響による経済の減速が鮮明であり、特に自動車関連需要の減少が顕著となってきた。先行きは依然として不透明である。

32. < 京都府 プラスチック製品製造業 >

新型コロナウイルスの影響で6月の受注高は5月ほどではないが厳しく、100%稼働には程遠い結果となった。特に、大半の企業が先行きの景況感に悪化をあげており厳しさが窺える。

33. < 兵庫県 化学・ゴム製造業 >

緊急事態宣言が解除され、百貨店、小売店も営業を再開したが、在庫を多く抱えており、新規発注にはつながっていない。製造現場も動き出したが、秋冬物をはじめとした商談もやっと始まったばかりである。

34. < 奈良県 プラスチック >

新型コロナウイルスの影響が徐々に出てきている。景況感は全般的に厳しい中、医療部材・日用家庭品については活発である。

35. < 島根県 プラスチック製品製造 >

自動車向け製品の仕事量の落ち込みが顕著であり、落ち込みの大きな客先では〇の所もある。しかし、製品によってはフル生産を希望される部品もあり、需要の差が著しい。

36. < 広島県 プラスチック製品製造業 >

新型コロナウイルスの影響で業界全体が売上、設備操業度ともに大幅に悪化している。自動車関連は7月からは回復の兆しがある。

**窯業・土石製品製造業**

37. < 栃木県 石灰製造業 >

鉄鋼向けは、相変わらず減産傾向であるため、出荷減。肥料、建材、土質関係は、前年と比較して、ほぼ横ばいであった。全体的には、鉄鋼向けの減少が大きく影響している。

38. < 群馬県 セメント・同製品製造業 >

新型コロナウイルスの影響による工事の延期も出ているが、山間部の公共工事発注により出荷量は増加となった。

39. < 神奈川県 砕石 >

新型コロナウイルスの影響で、工事中断による生産減からの回復がもたつき、一部製品には在庫増の気配。輸送問題の取り組みも継続しており、地域格差はあるものの売上は減少。

40. < 岐阜県 タイル >

引き続き新型コロナウイルスの影響により先行きの不透明感が強い。また、中堅ゼネコンを始めとする安値受注競争が各地で散見され、特に来年以降の物件に大きく影響が出そうである。

41. < 静岡県 セメント・同製品製造業 >

売上げ対前年比 81%、新型コロナウイルスの影響で仕事見直しが出始めた。官公需(海岸、大沢関係)が発注され、今月以降持ち直すと予測している。

42. < 愛知県 生コンクリート >

セメント・骨材の価格高騰、輸送コストの上昇、労務費増加等のコストアップに対応した価格の獲得が課題である。

**鉄鋼・金属製造業**

43. < 北海道 鋳鉄铸件 >

新型コロナウイルスによる大幅受注減が続いている。自動車は回復の兆しが見えているが、産業機械や建設機械向けなど、公共関連以外では依然厳しい状況が続く。

44. < 青森県 鉄鋼製造業 >

例年は6~8月の工場稼働率は高くなるが、今後は仕事量の低下が予想されている。現場で遅れが出たり、着工見送りになったケースもあり、県内案件にも新型コロナウイルスの影響が表面化してきた。

45. < 福島県 鉄工業 >

予定物件の中止・遅延が出始めている。また、在宅ワークのためかやり取りが遅れ、工場稼働への悪影響がある。

46. < 大阪府 金属熱処理業 >

以前から決定していた設備投資は継続しているものの、新たな設備投資については見合わせている消極姿勢が目立つ。アフター・コロナを見据えて人材育成に余力を傾注している企業は引き続き多く見られる。

47. < 高知県 金属製品製造業 >

新型コロナウイルス関連では、一部に取引先の生産縮小による受注減や営業活動の自粛を余儀なくされるなど、徐々に業況に影響が出はじめている。

48. < 大分県 鋼構造物 >

新型コロナウイルスの影響が徐々に始まっている。工事の延期や中止が発生しており、特に都市部や首都圏で業務を受注している組合員が影響を受けている。

**一般機器製造業**

49. < 埼玉県 一般機械機器製造業 >

新型コロナウイルスの感染症の感染拡大前の受注が4月～5月で終わり、新規の案件先行き不透明から保留状態が続いているケースが多い。半導体関連や工作機械関連の一部では動きがある。

50. < 東京都 機械工具製造業 >

受注が減少している。一部の製造ラインを休止し稼働を緩めている。新型コロナウイルスの緊急支援策を活用することで、なんとか資金繰りを安定させている組合員がいる。

51. < 福井県 機械工業 >

自粛制限が解除され、少しずつではあるが県外の営業先への訪問が増え仕事量も戻りつつある。しかし、海外に工場がある企業は未だ渡航を控えている状況が続いている。

52. < 愛知県 めっき >

自動車関係はトヨタ自動車の生産減に伴い、金曜日を休みとしている企業も多い。売上のにも40～50%減の企業も多く、電子関係では80%減の企業もある。欧米の回復が遅く、大きく影響しているようである。

53. < 三重県 四日市 >

新型コロナウイルスの感染から、経済活動の低迷は今から深刻な事態を迎える。6月の日銀短観でも景気底ばいの恐れを警告して、自動車下請受注も急減している。組合員の中でも影響をうけている。

54. < 岡山県 工作機械 >

緊急事態宣言が解除になったとは言え、すぐに業況が好転するとは考えにくい。一方、大手企業の新卒・中途の採用が鈍くなっている中で、業況は厳しい時だが将来を見越し積極採用を検討している。

### 電気機器製造業

55. < 群馬県 民生用電気機械器具製造業 >

大手メーカーの週休3日導入に追従する形で休業日が増加。雇用調整助成金を用いて稼働調整をする組合員も増えており、新型コロナウイルスの影響が深刻化しつつある。

56. < 静岡県 電気機械器具製造業 >

親企業の新型コロナウイルス対策実施に伴う生産能力ダウンと製品の販売減少の影響により組合員の売上は特に輸出が大きく減少した。

57. < 愛知県 配電盤 >

製造業であるため在宅勤務は不可能。新型コロナウイルスへの対応としては時差出勤、納入を遅くする等の契約内容の変更しかない。

58. < 京都府 電機機械器具製造業 >

新型コロナウイルスのなか業態別に影響の差異が認められていたが、広汎に亘り影響が拡大している。緊急事態宣言下における営業等経済活動停滞の影響が顕著になり売上高の大幅な減少に至っている。

59. < 兵庫県 電気機器製造業 >

米国は新型コロナウイルスのロックダウン措置が緩和され、自動車需要が穏やかに回復しつつあるが、約 25%減の見込みである。このような中、自動車用部品メーカーの生産は 50%~60%ダウンしている。

60. < 福岡県 電気機械器具製造業 >

依然として、新型コロナウイルスの影響が見受けられ、未だコロナ前の操業状態にはない企業が多い。依って、人材補充等に関しても予定が立たない状態にある。

**輸送用機器製造業**

61. < 静岡県 輸送用機械器具製造業 >

在宅勤務継続・外出自粛などの新たな生活様式への変化の影響から、冷蔵庫・家庭用空調機の需要が回復してきている。生産も新型コロナウイルス対策を実施した上で前年並みになりつつある。

62. < 愛知県 輸送機器 >

新型コロナウイルスの打撃が鮮明に表れ、リーマンショック以来 11 年ぶりの低水準となった。人手不足が続いてきた雇用は一転して過剰となり、非正規雇用を中心に雇用が減る方向である。

63. < 三重県 鈴鹿 >

取引先の今後の景況観を聞くと、日本の自動車業界はアメリカに大きく影響を受けるため、新型コロナウイルスにおけるアメリカの動向に注視しているとのことであった。

64. < 兵庫県 輸送用機器製造業 >

海外生産は 5 月は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、工場の稼働が殆どできていないため、6 月は著しく増加して見える。汎ガスは低位安定、ロボットは、現状比較的順調に推移している。

65. < 愛媛県 造船 >

新型コロナウイルスの影響で、外国人労働者の入国予定が立っていない。継続して消毒液の設置、マスクの配布等の対策を行っている。第 2 波を警戒し引き続き出張を自粛する企業が増えている。

66. < 大分県 造船 >

造船業界は国際競争で中国・韓国に押され気味であり厳しい状況である。

**その他の製造業**

67. < 秋田県 漆器 >

他県への移動自粛が解除されたが、団体観光客がまだ戻ってなく、工芸館の売上減少が続いている。県外の催事やイベントも 6 月は中止や延期となっていたため、在庫が捌けず、職人の仕事は薄い。

68. < 東京都 ガス圧接業 >

稼働率が 50%~90%となり、大きく低下している。新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明な状況が続く、受注単価の下落を抑制することもできていない。非常に厳しい状況に

ある。

69. < 神奈川県 工業中心の複合業種 >

金属部品加工業は、新型コロナウイルス感染のため、業界全体が厳しい状況にある。今後の受注見込みが不透明な状態で、非常に不安を感じており、受注減で一部ラインを停止している。

70. < 富山県 漆器製造業 >

新型コロナウイルスで百貨店などの展示会が中止になり、漆器販売に大きな影響が出ている。特に3~6月の繁忙期のイベント中止による販売の落ち込みはかなり厳しい。

71. < 香川県 漆器 >

6月に入り、各地の百貨店も営業を再開したが、大規模な催事は中止が続き、売上は前年比で50%に満たない事業所がほとんどで持続化給付金や無利子融資の申請により何とか凌いでいる。

72. < 福岡県 量等生活雑貨品製造業 >

新型コロナウイルスの感染拡大がまだまだ収束しない。三密を常に注意し、第2波と、消費者も用心し心掛けている現況で受注も全体的には厳しく悪化している。



## 《非製造業》

### 卸売業

#### 73. < 秋田県 青果 >

新型コロナウイルスによる自粛が緩和されたため、スーパーマーケットを中心に青果物の動きにも改善傾向が見られた。ホテル関係、飲食店等からの業務用需要は営業自粛の影響が続き、低迷が続いている。

#### 74. < 福島県 再生資源 >

古紙市場は横ばいで推移。鉄スクラップ市場は、上旬から中旬にかけて高値を付けたが、月末にかけて下げ、軟調に推移。

#### 75. < 神奈川県 料理材料卸 >

6月に入り、飲食店は全店対策を取りながら、オープンしたものの、売上は半減。社員食堂や学校食堂はまだ開くことができず、売上も平均して60%ほどである。

#### 76. < 石川県 一般機械器具卸売業 >

経済活動の再開が始まったが当業界の需要動向は今一つ本格回復には至らず手探り状況が続いている。延期、中止見送りとなった案件も多く、売上、収益ともに前年を大きく下回っている。

#### 77. < 熊本県 各種商品卸売業 >

新型コロナウイルスによって6月もホテルや旅館への食材納入業者、イベント関連業者は厳しい経営が続いているが、一方、特別定額給付金の支給により家電や食品の売上が上昇するなど好影響がでている。

#### 78. < 宮崎県 卸商業 >

バラの花などお祝い系の花の競り単価も安定してきた。週末の注文も入ってきだし、お祝い関係が動き出した感がある。

### 小売業

#### 79. < 岩手県 各種商品小売業 >

新型コロナウイルスの影響が続き、滞在時間が短い傾向、食品スーパーで必需品だけを買う、衣料品等の買回り品の購入機会が減っている。

#### 80. < 埼玉県 人形小売業 >

6月中旬から下旬にかけて、来年の正月、3月、5月の節句商戦に向けた展示会が行われたが、新型コロナウイルスの影響を受けて、来場者への対面だけでなくメールや電話を使った営業を行っている。

#### 81. < 山梨県 飲食料品小売業 >

外出自粛が明けて、飲食店の営業が再開された。青果小売業者では売上が回復してきている。

#### 82. < 長野県 自動車・自転車小売業 >

新車は新型コロナウイルスの影響で前年比75%と落ちた。登録台数もメーカー生産ライ

ンの影響で 65%となった。中古車は台数的には 98%だが、利益幅は大きく改善している。

83. < 三重県 スポーツ >

やっと 6 月の初旬より学校が再開し、納品を止められていたクラブ備品が動き始めたようである。ただ今期、春の売り出しはどこも全くダメで補助金の申請に走っていたようである。

84. < 佐賀県 食料品（鮮魚） >

自粛解除で先月に比べ、飲食店向け商材が多少動いた。スーパーマーケット部門では、先月に比べ、刺身、寿司の売上は減少。来月は、土用丑、昨年に比べ販売価格は下がる模様だ。売上に期待。

### 商店街

85. < 青森県 異業種 >

飲食業等は自粛による来街者数減少により売上の低下。マスク、アルコール消毒などのコロナ対策に向けたコスト、ビニール袋有料化などが負の要因。ただし解禁後の週末は人の出も改善している。

86. < 宮城県 商店街 >

商店街は引き続き厳しく、いずれの店舗も閉店時間を早め、街の灯は消えたような状況にある。学生服等を扱う商店は、昨年度と比較しても、売上の落ち込みが少なく給付対象とならないといった報告もある。

87. < 神奈川県 商店街 >

緊急事態宣言解除後の当商店街は営業時間短縮を継続している。全体売上は前年並みだが、近隣の大型商業施設が休業明けし、来客数は前年比 95%である。

88. < 滋賀県 商店街 >

中心市街地に多くのお客様に来ていただける 100 円商店街も中止になり、益々活気が無くなっている。次回は 9 月だが、今のところ実行委員会では中止の公算が大きい。

89. < 山口県 商店街 >

新型コロナウイルスの厳しい状況は変わらないが、国の給付金を受けたので何とか今年度の商店街運営の見通しは立ちそうである。

90. < 高知県 商店街 >

夏のイベント等すべて中止で人の流れが商店街に向かってきていない。6 商店街連合会で「コロナ対策プレミアム商品券」を計画中。

### サービス業

91. < 宮城県 クリーニング >

ホームクリーニングは新型コロナウイルスの影響で最悪の状況となった。一方、リネンサプライは、ホテル関係は最悪の状況だが、医療関係に於いては順調である。

92. < 栃木県 旅館・ホテル >

新型コロナウイルス感染拡大により、宿泊は壊滅的な状態。宴会は 100%ダウン。飲食店

は70%ダウン。宿泊は未だ前年対比30~40%。宴会は新しいスタイルを模索し始めるだけで1件もない。

93. < 千葉県 貸舟（君津市） >

新型コロナウイルス感染症の影響により、4月9日~5月17日までは、各釣舟店は全店休業していた。現在は営業再開しているが、前年同月比は、3割程度減少となっている。

94. < 東京都 一般公衆浴場業 >

全国団体が「新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」を作成した。その対策内容を分かりやすくまとめたハンドブックを作成する予定。

95. < 奈良県 旅館・ホテル >

6月19日に県をまたいでの移動が解除され観光客は、回復しつつあるものの直ぐに宿泊には結びつかず厳しい状況が続いている。修学旅行は全てキャンセルとなり、同年同月対比は0%~20%となる。

96. < 沖縄県 ホテル旅館業 >

県の休業と営業時間の短縮要請が解除され、組合では上部団体のガイドラインに修正追記を行い、組合独自の『宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン』を策定し、全組合員へ配信した。

## 建設業

97. < 秋田県 電気工事 >

新型コロナウイルスの自粛期間が解除となったが、大きな物件も少なく、一般住宅の動きも悪い。今夏の暑さ対策のため、国からの給付金を利用してエアコン設置の需要が生じている。

98. < 群馬県 塗装工事業 >

新型コロナウイルスの影響が大いに目立ち仕事量が減少。しかし、公共工事が発注され、自粛要請の解除により営業や現場調査ができるようになるなど、明るい兆しも見えてきている。

99. < 岐阜県 土木 >

工事の発注が例年に比べて遅れており、手持ち工事の無い組合員が存在するため、関係機関の早急な発注を望むところである。今月については建築関係の生コンの使用があった事から売上が若干増加している。

100. < 山口県 管工事業 >

新型コロナウイルスの影響はほとんど無い。今年度は、後継者養成と技術継承の意味もあり、5月より順調に入札・発注がなされており、組合員も順調に仕事をこなしている。

101. < 愛媛県 基礎工事 >

人手不足は需要の低迷で解消され、むしろ人余りの状況になりつつある。年間棟数があるハウスメーカー専属の企業はまだ受注できているが、地元ビルダーから年に数棟を請け負う企業は受注が激減している。

102. < 長崎県 建設業 >

これから夏を迎えマスクの着用で作業をしているため、熱中症対策も加わり、悩ましい課題を抱え建設現場では様々な対策を講じている。

**運輸業**

103. < 青森県 貨物軽自動車運送 >

新型コロナウイルスの影響で 6 月末まで休業した業種の仕事がなくなった。休んでいた荷主も 6 月中旬から 3 割程動き始めている。組合員の売上は昨年同月より 3 割減に至っている。

104. < 群馬県 一般貨物自動車運送業 >

荷動きが低調で非常に厳しい状況が継続している。また、運賃が下降傾向にあることも景況感に影響し始めている。先の見通せない状況が継続している。

105. < 岐阜県 貨物運送事業 >

自動車関連は工場稼働による輸送量の戻りもあったが、減少幅は大きい。輸送量の減少により輸送効率は悪化、運賃水準も低く、長期化することで、事業を継続することが困難になる等の懸念も高まっている。

106. < 兵庫県 道路貨物運送業 >

4~5 月期のダメージが癒えぬまま 6 月も低調に終わり、特に取引条件は悪化の一途を辿っている。更には 7 月以降の見通しも立たず本当に厳しい。

107. < 鳥取県 貨物運送 >

6 月は西瓜や飲料水の堅調な出荷量で一般の輸送量不足を補えるのだが、新型コロナウイルスの影響で製造業の出荷が軒並みリーマン・ショック以来の低水準となり、待機車輛ばかりが目立つようになった。

108. < 岡山県 トラック >

新型コロナウイルスに伴う経済活動の停滞により、多くの荷主企業に影響が出ているが、中でも鉄鋼・自動車関連の物流への影響が大きい。

**その他の非製造業**

109. < 宮城県 不動産 >

緊急事態宣言の解除に伴い、例年春に行われている人事異動が 7 月に本格化することから、賃貸マンション等の引き合いが多かった。

110. < 群馬県 採石業、砂・砂利・玉石採取業 >

民需増加に伴い出荷・生産量ともに増加。災害復旧工事の本格化により、さらなる需要増が見込まれる。

111. < 神奈川県 不動産 >

緊急事態宣言が解除され需要は回復してきている。仕事が無くなったので、故郷に帰りアパートを解約したいと言われたり、家賃の支払いを猶予や値下げの交渉を家主としてほしい等の相談も増加している。

112. < 富山県 不動産取引業 >

富山県内の不動産市況は、地価動向や家賃、空室数といった全ての指標で見通しが悪化。新型コロナウイルスの影響による景気の落ち込みを反映し、先行きに対する悲観的な見方が広がっている。

113. < 福岡県 貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関 >

緊急事態宣言解除後、人の動きは増えているが、客数増には繋がっていない。給付金等の支給が開始されたことに伴い貸付金の返済が増えている。

114. < 鹿児島県 造園工事業 >

造園業は屋外作業であることから、新型コロナウイルスの大きな影響はない。しかし、周りで感染者が出てしまうと、人の手配が出来ずに業務が出来なくなるため、感染防止を各社指導している。